

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(17:30~18:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 吉田、堂前、織田、富田実、上田、富田美、宝鏡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	2人	人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎や訪問時、家族とお会いすることができる場合は、変わったことや困ったことはないか等を聞き取り、ケアマネへの報告や職員間での共有、カルテ入力を引き続き行う。 ・会議等でケアの内容・方法を話し合い、利用者一人ひとりに合った支援が出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎や訪問時、家族とお会いすることができなかった時は、変わったことや困ったことはないか等の聞き取りを行うことができた。また、関わりの中で感じた家族の様子の変化なども含め情報はケアマネへ報告、カルテ入力し職員間で共有することが出来た。また、情報を元にミーティングにて、ケアの方向性を話し合うこともできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		5	2		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		5	2		7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	5			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		3	3		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族と会える機会があるときは、コミュニケーションをとる。 ・情報を共有しながら、本人に声掛けや関係作りに配慮している。 ・新規利用者の情報を利用開始前に共有できている。 ・利用開始前には、基本情報の回覧、ミーティングが出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始直前の情報を理解しきれていない。 ・利用者、家族と関わる時間が少ない。 ・日々のミーティングがあまり出来ていない。 ・日中のご様子は、カルテ情報のみの把握(夜勤職員) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・入院されていて退院後利用を開始される場合、コロナ禍ということで、退院直前まで本人にお会いする事が出来ず最新の情報を得る事が利用開始直前になってしまっている現状があるが、利用相談があった時点で職員全体で情報を共有し、利用が決まった段階でミーティングを行い、得られている情報を元にサービス内容を検討する。早い段階で情報を共有することで職員1人1人が、利用開始までにご本人とサービス内容について理解しておけるようにする。 ・1日1回ミーティングを行う。業務を見直し効率化を図り、ミーティング時間を確保する。 ・送迎時や訪問時など家族にお会いすることが出来た時は、積極的にコミュニケーションを取り困りごとや悩みなどの気持ちの聞き取りを行い、得られた情報はケアマネに報告、カルテに残し情報を共有する。 ・カルテでの情報共有だけでなく、業務交代時の申し送りをしっかり行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日 (17:30~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 吉田、堂前、織田、富田実、上田、富田美、宝鏡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	4人	1人	7人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の幅が制限されている中でも、行事を計画する時は必ずご利用者の意見を聞き出来るだけ利用者と一緒に決める。 ・日々の関わりの中での何気ない会話（職員と利用者、利用者同士）に耳を傾け、個々の「～したい」をどうしたら引き出し、実現できるかを会議等で話し合う。 ・利用者1人1人の事をよく知り、思いを聞くことが出来る信頼を得れる関りを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で行事の実施が難しく利用者の意向に沿うことは出来なかったが、時間がある時は、感染対策をした上できらめき周辺を散策するなど郊外活動を行い喜んで頂けた。 ・些細な情報でもカルテで共有し、利用者の思いに対し自分たちがどう支援する事が出来るのかミーティングで話し合うことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	2		7
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4	3		7
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?			6		6
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	3		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・長期目標の理解 ・事例研究にも取り組み、会議などで実践内容のミーティングができた。 ・会話や活動を通しての情報をカルテに記録している。 ・利用者の身体状態に応じながら「～したい」や、利用者とのコミュニケーションをとりながら、好きな事ややりたい事を聞き出している。 ・興味のあること、やりたいことなど、聞き出せるような会話を心がけている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりがその場だけのものになっている。 ・利用者一人ひとりの「～したい」が理解しきれていない。 ・「～したい」という思いを引き出すことが出来なかった。 ・日々の対応で、利用者一人ひとりとじっくりと会話ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・継続した関りが出来るよう職員全体で同じ目標を持ってケアを行う。 ・利用者と1対1の関りの時間が持てるよう職員間でしっかりと連携を取り効率的に業務に取り組む。 ・利用者がこれからの「～したい」を見つける事が出来る支援を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(17:30 ~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 吉田、堂前、織田、富田実、上田、富田美、宝鏡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	2人	1人	7人

前回の改善計画

- ・「以前の暮らし方」を知るために、職員間で聞き方のアイデアを出し合い聞き方の工夫する。
- ・日々の関わりの中で、何気ない会話から発せられる利用者の言葉に耳を傾け、会議で共有、カルテに記入するようにする。
- ・本人からだけでなく家族からも情報をお聞ききする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・レクリエーションを通じて、昔の思い出や当時の暮らしの様子を聞くことができたが、自分の思いを表現することができない方も多く、聞き出すことが難しいケースもあった。得られた情報や様子の変化などは、些細なことでもカルテに記入し口頭でも情報共有できた。
- ・共有した情報をもとに会話の幅を広げ、新しい情報を知る事が出来た。
- ・家族から以前の暮らしについてお聞きすることが出来た方もいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			6		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	3			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	2		6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	3			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		4	2		6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者の様子や変化に気づいたときは、職員間で共有できている。
- ・本人の気持ちや、体調の変化に気づくことができている。
- ・利用者の状況に合わせた介護ができている(食事、入浴、排泄)。
- ・利用者の体調や普段と様子が違うなど、気になることがあれば、些細な事でも職員間で共有している。
- ・利用者の表情、会話などから変化に気付けるように努力している。変化があれば、情報共有している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ミーティングで発言できていない。
- ・「以前の暮らし方」を10個以上把握できていない。
- ・本人の思いを聞き出すことができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・「以前の暮らし方」を知るために、職員間で聞き方のアイデアを出し合い聞き方の工夫する。
- ・日々の関わりの中で、何気ない会話から発せられる利用者の言葉に耳を傾け、会議で共有、カルテに記入するようにする。
- ・本人からだけでなく家族からも情報をお聞ききする。
- ・利用者同士の関わりから得れる情報もあるので、利用者同士がコミュニケーションを取れる支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(17:30 ~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 吉田、堂前、織田、富田実、上田、富田美、宝鏡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	5人	1人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・会議、ミーティングにて数回に分けて学習会を行い「地域資源」の理解を深める。 ・利用者一人ひとりを支える地域資源とその役割は何かを考えてみる(軒下マップの活用) ・今後もコロナ禍の影響が続くと思われる為、利用者と家族・地域との関係が切れてしまわないよう、何が出来るのか検討し十分に感染対策を行ったうえで支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域資源」への理解を深めるための学習会は行うことができなかった。 ・コロナ禍の影響で地域や家族との関わりが制限されてしまったご利用者が多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		2	4		6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		1	5		6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	3		6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			4		6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族がいる利用者は、連絡ノートから確認することができた。 ・送迎や訪問時、家族に様子を聞いたり、情報を伝えたりしている。 ・家族とは、連絡帳で日々やりとり出来ている人もいる。利用者のこれまでの生活スタイルや人間関係を理解した上で支援している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や地域の資源と利用者さんとのかわりが分からない。 ・独居生活の利用者がきらめきに通われていないとき、どのように過ごしているか把握できていない。 ・家族の方以外、把握していないことがある。 ・家族と会う機会があっても、送迎や訪問でゆっくり時間をかけて話すことができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者1人ひとりを支える地域資源とその役割は何かを考えながら、在宅生活を支援していく。 ・今後もコロナ禍の影響が続くと思われる為、利用者と家族・地域との関係が切れてしまわないよう、何が出来るのか検討し十分に感染対策を行ったうえで支援していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日 (17:30 ~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 吉田、堂前、織田、富田実、上田、富田美、宝鏡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	5人	1人	6人

前回の改善計画

- ・会議、ミーティングにて数回に分けて学習会を行い「地域資源」の理解を深める。
- ・利用者一人ひとりを支える地域資源とその役割は何かを考えてみる (軒下マップの活用)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・「地域資源」への理解を深めるための学習会は行うことができなかった。
- ・コロナ禍の影響で地域や家族との関わりが制限されてしまった利用者が多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	5		6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	4	1		6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	4	1		6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		6			6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者のその日の状態を理解し、それに合わせた支援ができています。
- ・日々の変化をカルテに記入し、職員間で共有や家族に報告できていた。
- ・利用者や家族の状況に合わせて、通い、泊り、訪問を調整し対応している (ニーズに合わせて柔軟に出来ている)。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域の資源を使った支援ができていない。
- ・利用者のニーズに対応できていないときがあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用者1人ひとりを支える地域資源とその役割は何かを考えてみる。本人の人間関係について理解する (家族、ご近所さん、友人など)。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日 (17:30 ~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 吉田、堂前、織田、富田実、上田、富田美、宝鏡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	2人	5人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネと利用者の訪問看護や往診の際に同行したり、担当者会議にも一緒に出席をしたりしていく (参加する職員が偏らないようにする) ・職員の配置を工夫し職員が参加できる機会を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ中心に地域ケア会議に参加した。 ・新規 (再開) 利用者を受け入れる際、職員も同行して担当者会議に出席することができたが、機会は少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?			2	4	5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?			1	5	6
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1	1	4	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	1	3	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の職場体験の受入れができている。 ・初めて災害時の福祉避難所として地域住民の受入れを行った。また、利用者の個別避難計画作成を行った。 ・地域の方が、花壇のお花をきれいに管理して下さっている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動、イベントに参加できていなかった。 ・自治体や地域包括支援センター会議に参加できなかった。 ・コロナ感染症予防のため、祭りやイベントを開催できなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネと利用者の訪問看護や訪問診療の際に同行したり、担当者会議にも一緒に出席をしたりしていく (参加する職員が偏らないようにする)。 ・災害があったときには、福祉避難所として迅速に開設、対応できるようにする。 ・コロナ感染症予防を行いながら、地域へ出向いたり、地域住民が事業所を訪れたりすることができる機会を作っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日 (17:30 ~18:30)

7. 運営

メンバー 吉田、堂前、織田、富田実、上田、富田美、宝鏡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1人	2人	4人	7人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議への家族、利用者の参加を促していく。 ・アイデア提案制度を引き続き活用し、職員も運営に対して意見を出しやすくするようにする。 ・コロナ禍の影響で現状実施は難しいが、地域とどのような取り組みが出来るか会議にて話し合いを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に家族や利用者の参加を促すことができなかったが、広報紙にて案内を掲載することができた。 ・アイデア提案制度を活用し運営に生かすことができたが、制度を利用する職員は限られていた。 ・今年度もコロナウイルスの影響で、家族会を開催をすることができず、家族同士での意見交換も行うことができなかった。また、ギャラリー開放、早朝トレーニング、認知症カフェ等を行うことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		4	1	2	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5		1	7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	3	1	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		1	4	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族の意見に寄り添った対応ができている。 ・アイデア提案を行っている。 ・利用者からの意見や苦情は共有しており、要望に添うように対応している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働した取り組みができていなかった。 ・地域からの意見を反映できていなかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議へ利用者、家族の参加を促していく。 ・利用者や家族、地域の方からの意見をお聞きしたり、アイデア提案制度を活用したりして、よりよい事業所作りに職員の意見を取り入れていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日 (17:30 ~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 吉田、堂前、織田、富田実、上田、富田美、宝鏡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	2人	2人	7人

前回の改善計画
・研修参加後は、参加者は学んだことを他の職員に伝えることができる時間（ミーティングや会議）を持つようにする。 ・出来るだけ多くの職員がスキルアップ研修に参加できるように、人員配置の工夫、業務改善による時間の確保が出来るように取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
・動画研修や ZOOM 会議にて参加することができる。 ・月1回の会議時に職員が1つの議題を持ち込み勉強会を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	4		2	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5		2	7
③	地域連絡会に参加していますか			1	5	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修に参加出来ている。(ZOOM、動画) ・職場内で独自の研修を行えている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職場外での研修に参加できていない。 ・地域連絡会に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・出来るだけ多くの職員がスキルアップのための研修に参加できるように、人員配置の工夫、業務改善による時間の確保が出来るように取り組む。 ・研修参加後は、学んだことを他の職員に伝えることができる時間（ミーティングや会議）を持つようにする。 ・これまでの対応やケアのをやり方を継続するのではなく、研修で学んだことを共有して取り入れたり、日々の利用者の状態変化を共有したりして、職員一人ひとりがケアに対する考えを持って対応できるようになる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年1月10日(17:30～18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 吉田、堂前、織田、富田実、上田、富田美、宝鏡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	2人	人	7人

前回の改善計画
・職員ごとの研修計画を作成し、身体拘束・虐待・プライバシーの保護・認知症への対応について全職員が研修に参加できるようにする。 ・職員間での情報の共有、教育を行う。 ・会議の場で成年後見制度についての学習会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
・動画研修にて、身体拘束や虐待、認知症に関する学習を行う事が出来た。 ・成年後見制度の学習会を行うことはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	2	5			7
②	虐待は行われていない	5	2			7
③	プライバシーが守られている	3	4			7
④	必要な方に成年後見制度を活用している			2	4	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	4			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待防止の研修を通じて、再確認できている。 ・プライバシーが守られ、身体拘束・虐待は行われていない。 ・利用者へのプライバシーが守られている。 ・個人情報を管理できている。 ・個人の尊厳を守ること。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度の活用ができていない(学習会) ・利用者の行動を制限してしまうことがあった(言葉)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職場ごとの研修計画を作成し、身体拘束・虐待・プライバシーの保護・認知症への対応について全職員が研修に参加する。 ・利用者や家族との関係性(距離)が近くなると、言葉遣いも乱れがちになるため気を抜かないようにする。 また、介護者主体の声掛けにならないようにする。	